

達磨寺参拝 サポート隊

聖徳太子ゆかりの達磨寺（王寺町）を訪れる人を増やしたいと、「王寺観光ボランティアガイドの会」（阪本光弘会長）が、土、日曜に会員が同寺に常駐し、無料で境内や本堂を案内する定点観光ガイドを行っている。

王寺の団体



毎週土日常駐 太子伝説など紹介

「ガイドをきっかけに、町内の観光客を増やしていければ」と話す阪本会長（前列右）ら（県庁で）

た人に食物や衣服を与え、後日息絶えていたのを手厚く埋葬した塚の上に建立されたとされる。後に禅宗の祖・達磨大師の墓所と考えられるようになったという。

定点観光ガイドは、同町観光協会が先月設立されたのを機に、同月31日からスタートした。本堂前の境内と本堂内に各1人が常駐。境内に立つ太子の愛犬・雪丸をかたどった石像や、本堂にまつられる達磨坐像などについて解説する。

年間の参拝者数を現在の17000人程度から1万人に増やすのが目標とい、阪本会長は「斑鳩町の法隆寺から車で15分ほどの距離。達磨寺まで足を延ばしてもらうきっかけになれば」と話している。

定点観光ガイドは午前10時～午後3時。問い合わせは王寺町観光協会（0745・33・6668）。



王寺観光ボランティアガイドの会

〒636-0023 奈良県北葛城郡王寺町太子1丁目12番4号

TEL. 0745-32-5140 FAX. 0745-32-5140 E-mail : sakamoto@hikarij.com

URL <http://www.hikarij.com/jyohou/oji-guide/top.html>

産経新聞 2014年6月6日

産経新聞

＜第三種郵便物認可＞



達磨寺の週末ガイドをPRする「王寺観光ボランティアガイドの会」の会員ら

聖徳太子ゆかりの達磨寺（王寺町）で、王寺観光ボランティアガイドの会の会員らによる週末観光ガイドが始まった。毎週土・日曜に境内でガイドたちが案内看板を掲示して待機し、本

週末、達磨寺へ 見どころ教えます

王寺観光ボランティアガイドの会

聖徳太子ゆかりの達磨寺（王寺町）で、王寺観光ボランティアガイドの会の会員らによる週末観光ガイドが始まった。毎週土・日曜に境内でガイドたちが案内看板を掲示して待機し、本

堂・資料展示室や庭園など見どころをアピールする。同寺には檀家がいないため、見学者にボランティアが対応するのは難しい。会は5月19日に発足した町観光協会と連携して観光案内を行う。

日本書紀などによると、同寺は聖徳太子が斑鳩への帰路に飢えと寒さで瀕死の人に会い、馬をおりて自分の衣を着せ、食物も与えたが、翌日死亡しているのを発見し、手厚く弔った」という伝説の地にある。本堂は達磨大師の墓所とされる古墳の上に建っているという。境内には達磨像など4点の需要文化財のほか古文书、6世紀末ごろの古墳などが点在。町公式マスコットキャラクターになった聖徳太子の愛犬「雪丸」像、

戦国武将の松永久秀の墓、方丈と石庭「亀集庭」も見学できる。

阪本光弘会長は「法隆寺からも近い見どころたっぷりな達磨寺に、ぜひ立ち寄って」と呼びかけている。

JR・近鉄王寺駅から徒歩約15分。駐車場あり。問い合わせは王寺町観光協会（☎0745・33・6668）。

かわら版おうじ 平成26年6月6日

かわら版 毎月第1・3金曜日発行

おうじ



王寺町観光・広報大使「雪丸」

No. 1607

発行日

平成26年

6月6日(金)

編集

王寺町役場

政策推進課

トピックス

達磨寺で定点観光ガイドがスタート!



◎とき 5月31日(土)から毎週土・日曜日(祝日は除く) 10時~15時

◎内容 王寺観光ボランティアガイドの会が、達磨寺(本町2丁目)で定点観光ガイドを開始します。

達磨寺には本尊の木造彩色聖徳太子坐像、木造彩色達磨坐像、達磨寺中興期石幢の重要文化財をはじめ、数多くの文化財があります。人気のキャラクター「聖徳太子の愛犬「雪丸」の像も祀られています。

◇境内に「ガイドします・無料」の案内看板を掲示し、観光ガイドが待機していますので、声をかけてください。

◇ガイドのない見学のみも歓迎します。

※10名以上の団体でガイドを希望される方は、事前にお問い合わせください。

◎ガイド料 無料

◎お問い合わせ 王寺町観光協会事務局(地域交流課内) (TEL. 33・6668)

王寺観光ボランティアガイドの会

〒636-0023 奈良県北葛城郡王寺町太子1丁目12番4号

TEL. 0745-32-5140 FAX. 0745-32-5140 E-mail: sakamoto@hikarij.com

URL <http://www.hikarij.com/jyohou/oji-guide/top.html>



聖徳太子「飢人伝説」ゆかりの寺

王 寺 達磨寺で観光ガイド

王寺観光ボランティアガイドの会 毎週末に無料で案内

王寺町の王寺観光ボランティアガイドの会（阪本光弘会長）は、きょう31日から、聖徳太子ゆかりの達磨寺（同町本町2丁目）で、定点観光ガイドを始める。毎週土、日曜日、同会メンバーが、数多くの国重要文化財が所在する同寺を無料で案内する。



達磨寺で定点観光ガイドを始める王寺観光ボランティアガイドの会のメンバー。奈良市登大路町の県庁

達磨寺は聖徳太子が飢えた人に食物と着物を与え、その人が達磨大師だったという「飢人伝説」の地に開基。境内には、県指定文化財の方丈や石庭「亀集庭」、聖徳太子の愛犬・雪丸の石像などが残る。また、資料展示室では、木造彩色達磨坐像や木造彩色聖徳太子坐像など4件の国重文のほか、石塔埋納遺構出土品、古文書などが展示されている。同会では町の観光振興を目的に、今月19日に設立した町観光協会、同寺と連携。初めての定点観光ガイドを同寺で始めることにした。

同会メンバーは土、

日曜日の午前10時から

午後3時まで、境内と本堂に各1人が待機。約15分間、寺の歴史や見どころを説明し、その後は自由に見学してもらおう。希望により詳細なガイドも可能。拝観無料。同会の阪本会長は「これまでは有名な法隆寺に隠れた存在だったが、聖徳太子ゆかりの素晴らしい寺を、全国の人に知ってもらいたい」と意気込みを見せる。問い合わせは町観光協会、電話0745(33)6668。



王寺観光ボランティアガイドの会

〒636-0023 奈良県北葛城郡王寺町太子1丁目12番4号

TEL. 0745-32-5140 FAX. 0745-32-5140 E-mail : sakamoto@hikarij.com

URL <http://www.hikarij.com/jyohou/oji-guide/top.html>

毎日新聞 2014年5月29日

達磨寺 土、日曜に無料ガイド

31日から ボランティアが常駐



達磨寺で定点ガイドを始める王寺観光ボランティアガイドの会メンバー

王寺観光ボランティアガイドの会（阪本光弘会長、31人）は、聖徳太子ゆかりの片岡山達磨寺（王寺町本町、臨済宗南禅寺派）で、土・日曜日に定点ガイドを始め、31日から毎週土、日曜日の午前10時から午後3時にガイドが常駐し、本堂・資料展示室や、方丈などを無料で案内する。

達磨寺は、聖徳太子が飢えた人に出会い、馬を下りて衣を着せかけ、食物を与えたという伝説の地にある。本堂は達磨大師の塚と伝えられる古墳の上に建てられている。達磨坐像、聖徳太子坐像など4件の重要文化財ほか、古文書、6世紀末ごろの古墳、出土遺物がある。方丈と石庭「亀集庭」も見学できる。寺には檀家がなく、見学希望者に住職一人

で対応するには限界があった。19日に発足した町観光協会と連携して、ガイドによる案内を始めることにした。阪本会長は「町公式マスコットキャラクターになった聖徳太子の愛犬、雪丸像もあります。NHK大河ドラマの影響で、境内の松永弾正久秀の墓を訪ねてくる人も増えています。法隆寺からも近いので、ぜひ足を運んでくださ

い」と話している。
JR・近鉄王寺駅から徒歩約15分。駐車場あり。拝観料不要。問い合わせは町観光協会（0745・33・6668）。【松本博子】

NHKならナビ金曜日 2014年5月30日 午後6時30分ごろ放送



王寺観光ボランティアガイドの会

〒636-0023 奈良県北葛城郡王寺町太子1丁目12番4号
TEL. 0745-32-5140 FAX. 0745-32-5140 E-mail : sakamoto@hikarij.com
URL <http://www.hikarij.com/jyohou/oji-guide/top.html>